

フォト句会 22年9月度成績

開催日：9月13日(火)

時 間：15時30分～17時30分

場 所：渋谷区地域交流センター
代々木の杜

出席者：9名

写真出題：安 藤

お題写真



安藤家の庭に自生した
山牛蒡(ヤマゴボウ)

付け句 出題：安藤（花瓶の山牛蒡）

- 1) 野の花を挿して残暑の遠ざかる 三 春
季節感をさわやかに詠んだ句で最高点を獲得した。
- 2) 牛蒡でも根に毒を持つ食わせ者 松田昌康
同じ牛蒡の仲間でも、山牛蒡は食べられないので注意。
- 3) キンピラをつまんでゴクン缶ビール 大越浩平
キンピラゴボウを肴に気持ちよく吞んでいる作者が見える。
- 4) 花より葉 葉よりも花器の美しき 松田昌康
花は質素、葉は立派だが地味…。被写体を順位付けした。
- 5) 可憐なる内縁の妻豹変し 下山健夫
山牛蒡の花言葉は「内縁の妻」。実は熟すと黒く変色する。
- 6) お部屋にはお世話になったと置き手紙 矢澤正二
永年連れ添った内縁の妻から離縁状。うまく韻を踏んだ句。



客もどり 坊ちゃん列車に笑み戻る (勝)



俯けば長い睫毛の合歡(ねむ)の花
(晃也)

あめ露をしのぐ軒下

蜘蛛ひそむ

(三春)





人見知りそつと顔出す利尻富士
(昌康)

寸 評:

- 1) 客もどり坊ちゃん列車に笑み戻る 清水 勝
戻った客を共に喜ぶ作者の気持ちが溢れている。
- 2) 俯けば長い睫毛の合歓(ねむ)の花 中村晃也
真っ白に輝く合歓の花を詩情豊かな句にした。
- 3) あめ露をしのぐ軒下蜘蛛ひそむ 三 春
ウクライナ戦争は「あめ露」即ち米口の代理戦争とも言われる。渦中のウクライナの命運が気がかり。
- 4) 人見知りそつと顔出す利尻富士 松田 昌康
なかなか姿を見せない利尻富士を「人見知り」と味な表現で詠み込んだ。